

何故？ NPO 法人健康笑い塾を設立したのか。

(薬剤師なのに なぜ この仕事を始められたのですか？)

50 歳 (2002 年) の時、ガンを患い「人間は死ぬ」ことを認識しました。子ども達も大学生でしたので お先が真っ暗になりましたが、運良く早期発見で直ぐに手術をして頂き、お陰様で、その後は再発しておりません。それから、笑いは免疫力を上げることを文献で読み、「笑い」を幅広く勉強するために日本笑い学会に入会し、「笑い」の素晴らしい効用を再認識しました。そんな折、2007 年に会社が 3 度目の合併を行いましたので、これを機に「薬剤師として医薬品で社会貢献も良いが 残りの人生『笑い』で社会貢献を 中井らしい 中井しかできない仕事を」と一念発起し NPO 法人健康笑い塾を立ち上げた次第です。

それ以来 笑いの様々な研究をおりますと「健康と笑い」だけでなく、会社時代の秘書室長、学術研修部長、、支店長や 3 度の会社合併などの様々な経験を活かして「経営と笑い」や企業研修のお話できるようになり、また、3 人の愚息を育てましたので、その経験 (エピソード) を生かして、教師の研修会や PTA 総会等の「教育と笑い」の分野まで広げてお話をさせて頂いております。

また 2017 年 12 月に 日本産業ストレス学会の理事に推薦されましたので「こころの笑方箋～職場のメンタルヘルスとユーモア～」の依頼も多くなりました。

また 2019 年 4 月より 岡山大学で非常勤講師として「人間学講座」を担当することになり これからの AI 時代を担う若者に、人を感動させるような情熱やコミュニケーション力、そして人の心をつかむセンスなど、人間としての総合的な力 (人間力) を講義する機会を持つことができました。

しかし 何ととっても設立して 10 年、経営人財育成コンサルタントして、また講演会講師として、年間約 100 名の経営者や有識者の方々から教えて頂いたことが、一番大きな糧になっていることは事実です。

今後も お金のいらない、単純で、万能で、即効の「笑い」を幅広く広めていきたいと思っておりますので、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。